

四組 生活単元学習『ザ・ヨンクミア～喜ばれるものづくりをしよう～』

単元のめあて

- 場や相手に応じた話し方や聞き方をするとともに、道具を正しく扱うことができる。
- 使う人に喜んでもらえるものづくりを通して、自分の考えを伝えたり、相手の意見を聞いたりして、もらう人の立場になって、よりよい作品を作ろうと試行錯誤している。
- 感謝の気持ちを伝えるために、友達と協働して、製作活動や話し合いを行い、すすんで学習に取り組むことができる。

創造的な資質・能力の素地を育成するための視点

感謝を伝えるものづくりの活動を通して、既習事項や収集した情報を整理して問題の解決策を考える力を身に付ける。

創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て

授業パートナーとの連携

「ユザワヤ商事(株)」の方による刺しゅう作品を見たり、製作の工夫について話を聞いたりする活動を通して、児童が、主体的に作品づくりに取り組めるようにする。また、地域のサービスの方に感謝を伝える活動を通して、児童が相手意識をもてるようにする。



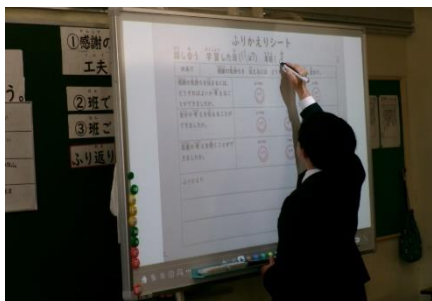
学習サイクルや振り返りの工夫

「話し合う」「学ぶ」「作る」「届ける」「振り返る」という学習過程を取り入れ、児童が試行錯誤や協働できるようにする。学習過程を繰り返し設定することで、ものづくりに必要な知識・技能の素地を養ったり、相手意識をもって取り組んだりできるようにする。



ICTの活用

作品やデザイン、道具の使い方などを効果的に提示し、児童が活動を理解しやすいようにする。また、デザインやニーズに合ったものなどを考える段階においては、タブレット端末で検索して情報を収集することができるようにする。



成果と課題

- 話し合いの際には、話型があることで、進行をスムーズにできたり、安心して自分の意見を話したりしていた。今後は、話型の種類や自分の言葉で伝える部分を増やしていけるように支援していきたい。
- 動画は情報量が多いため、教師が意図したことを読み取れないこともある。動画を提示する際は、見る視点を明確化し、あらかじめ児童に伝えることで、より効果的に情報を伝えていくことが今後の課題となった。